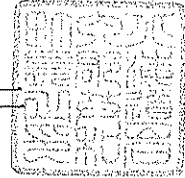


共 企 号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

共和町長 山本栄



中期的な計画策定にあたっての意見提出について (回答)

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

企画振興課企画調整係  
TEL 0135-73-2011(231)  
FAX 0135-73-2288  
E-mail kw.soumu@soleil.ocn.ne.jp

(団体名 共和町)

## 中期的な計画の作成にあたっての意見について

### 道路整備の必要性について

#### (地域医療体制の整備)

昨今の地域医療の体制は、医師の都市部への流出等により地域センター病院においても医師不足をまねき医療体制を確保できない深刻な状況になっている。

加えて急速な高齢化の進展により、地域住民の健康を守るため地域医療の体制整備が、これまで以上に最重視されている。

地域住民が安心して暮らせる環境を確保するため、市町村内の医療機関及び地域センター病院の充実はもとより、緊急を要する重篤な傷病者への治療に当たっては、第二次、第三次保健医療圏内の高度医療機関への搬送時間の短縮が求められておりこれらの問題解決のため早急に高規格道路及び幹線道路網の整備を図る必要がある。

#### (地域防災体制の整備)

地域の特殊性として、国の電源開発の推進に伴い原子力発電所が泊村に設置されており、住民が不安のないよう安心して暮らすことができる原子力防災体制を整備する必要がある。

災害時に迅速に避難できる体制の確立のため、広域避難道路の増設(新設)及び現路線の整備・改良による避難路の充実確保。また、自動車の安全走行が可能な維持・管理等、地域住民が安心して暮らせる道路網を整備する必要がある。

### (地域産業での期待と効果)

北海道では、産業構造上、第1次産業の占める割合が高く、基幹産業を農業とする市町村が多い。

収穫された産品を大消費地である首都圏、関西圏の人口集中地域へ敏速に輸送する必要があり、幹線道路網の整備により輸送時間が短縮されることによりコスト軽減に繋がり品質及び価格面で生産者、消費者ともに有益なものとなる。且つ産品の優良かつ安定的な供給により、市場における信頼度は高まり、ブランド化が進み地域経済の活性化を図ることができる。

また、近年のレジャー志向の高まりから、移動時間の短縮及び自然環境と調和のとれた道路整備を行うことによって、地域経済の活性化や都市部と地方との交流の拡大を図ることができる。

戦後の国土開発により、国内道路網の整備については、一般論として「ナショナルミニマムは達成され、国土開発は完了した。」と論じられているむきがあるが、本州都府県とは違い、北海道においては、圏域間で多くの移動時間を要し、道路網の整備は完遂されているとは言えず、地域住民の通勤や医療及び物流、観光に活用される道路網の整備が大いに期待されるところである。

### (交通安全対策)

北海道の幹線道路、特に国道については、交通事故が多発している現状であり毎年、尊い命が犠牲になっている。

日々、道警察や関係機関一体となった交通安全への取組を進めているところであるが、抜本的な解決まで至っていない現状であり、各市町村において対応に苦慮している。

後志地域における交通安全上の問題点には、主に気候的な要因があり、豪雪・寒冷で、冬期間の視程障害及び路面凍結

によるスリップ事故が発生しており、附帯施設の整備や寒冷対策等、維持管理の徹底が望まれる。

また、山岳地帯であることから随所にある峠等において、道路線形は特有の縦断線形及び曲線形状を有し、冬期間の安全走行を確保するには道路構造上の根本的な問題を解決することが必要不可欠であり、幹線道路の新設及び改良整備も必要である。